

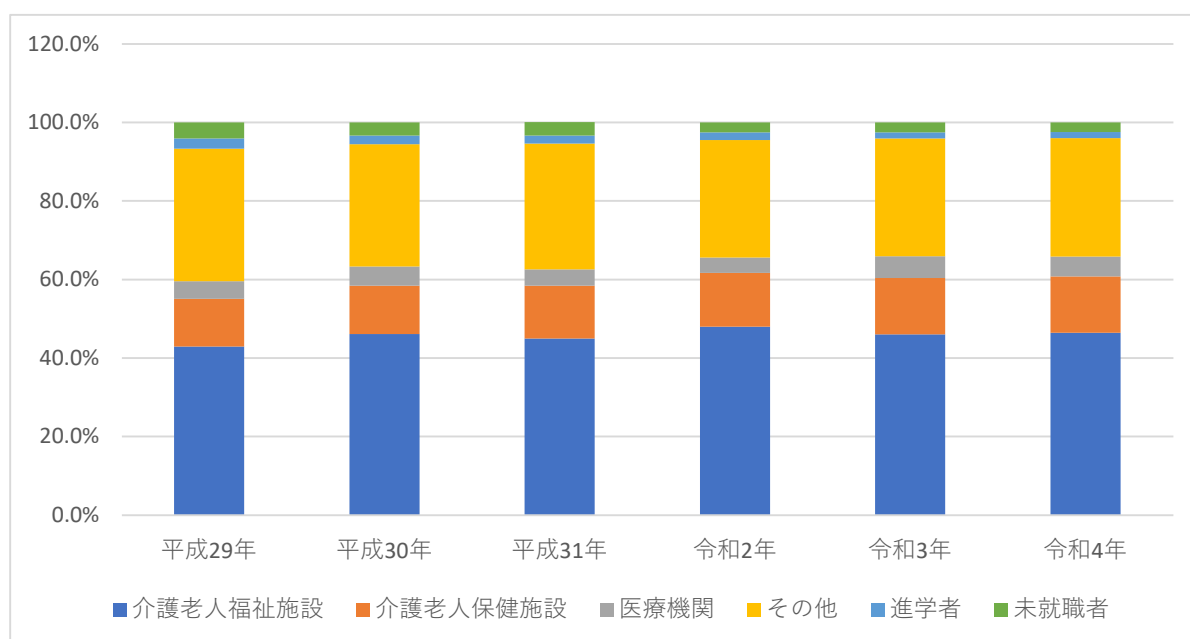
令和4年3月卒業生 進路調査報告

全国 327 校の令和 4 年 3 月卒業生を対象に進路調査を実施しました。今年度の回収率は 95.4%であり、卒業生数では 5,774 人(うち離職者訓練生(以下、「訓練生」)は 568 人、外国人留学生(以下、「留学生」)は 1,875 人でした。

〈卒業生進路先別比率 最近6カ年の推移〉～抜粋～

毎年 3 月 31 日現在

区分	種別	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
就職決定	介護老人福祉施設	42.9%	46.1%	45.0%	48.0%	46.0%	46.4%
	介護老人保健施設	12.2%	12.3%	13.4%	13.7%	14.4%	14.4%
	医療機関	4.5%	4.9%	4.2%	3.9%	5.5%	5.0%
	その他	33.7%	31.2%	32.0%	29.9%	30.0%	30.2%
	計	93.3%	94.5%	94.5%	95.5%	95.9%	96.0%
進学者		2.6%	2.2%	2.1%	2.0%	1.6%	1.6%
未就職者		4.1%	3.3%	3.4%	2.5%	2.5%	2.4%
合計		100%	100%	100%	100%	100%	100%



○卒業生の就職先傾向に大きな変化は見られません。

○「進学者」の割合が、近年低くなっています。

【 調査項目に即した数字データ 】

＜卒業生数内訳＞

	卒業生数	左のうち国家 試験受験者数	左のうち国家 試験合格者数	合格率
卒業生数	5,774 人	5,407 人	4,017 人	74.3%
うち離職者訓練修了者数①	568 人	563 人	560 人	99.5%
うち外国人留学生数 ②	1,875 人	1,696 人	538 人	31.7%
①、②以外	3,331 人	3,148 人	2,919 人	92.7%

○ 訓練生の合格率はほぼ 100%ですが、留学生の合格率は 3 割を超える程度で、低水準です。

＜種別内訳＞

(単位:人)

	就職人数	うち訓練生数	うち外国人 留学生数
介護老人福祉施設	2,682	169	878
介護老人保健施設	830	56	323
医療機関	287	20	165
自立支援施設	378	85	35
有料老人ホーム 福祉関連企業	516	40	308
居宅サービス関連事業 (訪問介護・入浴・グループホーム・デイサービスなど)	504	118	140
児童福祉施設	113	6	6
社会福祉協議会 福祉事務所 公務員	93	16	1
保護施設(救護など)	10	2	0
その他(福祉分野以外)	132	21	5
合計	5,545	533	1,861

○ 有料老人ホーム 福祉関連企業への外国人留学生の就職が、昨年と比較すると、増加しています。

＜居宅サービス関連事業年次推移＞

(毎年3月31日現在、単位:人)

	H29	H30	H31	R2	R3	R4
就職者数	736	599	547	505	527	504
うち訓練生	254	194	197	137	133	118
全卒業生数に占める割合	8.9%	9.13%	7.16%	9.17%	9.48%	8.73%

○ 居宅サービス関連事業の就職者割合は、例年、全体の 1 割以内となっています。

訓練生の居宅サービスへの就職者数は、介護老人福祉施設の次に多い状態が続いています。

＜その他の就職先(記載のあったもののみ集計)＞

(単位:人)

小売業(飲食・販売など)	25
事務職	19
教育関連(幼稚園など)	16
製造業	11
協同組合など	7
人材派遣会社など	4
建設業	5
物流業	2
自営業	3
その他	2

<進学内訳>

(単位:人)

	H29	H30	H31	R2	R3	R4
大学・大学院 (福祉)	136	101	96	82	86	66
大学・大学院 (医療)	2	1	3	1	0	3
大学・大学院 (その他分野)	9	5	6	4	6	4
短大・専門学校(福祉)	18	9	5	6	4	4
短大・専門学校(医療)	37	18	13	10	5	8
短大・専門学校(その他分野)	15	7	3	7	5	7
合 計	217	141	126	110	106	92

- 福祉系大学・大学院への進学者は昨年の 86 人(進学者全体の 81.1%)から 66 人(同 71.7%)に減少しました。
- また、短大・専門学校(医療)への進学者が微増しました。
- 訓練生全体のうち進学者が 0.2%、留学生全体のうち進学者が 0.3%となっています。

<未就業者>

(単位:人)

	H30	H31	R2	R3	R4
未就業者数 ()は未就業者数/全卒業生数	219(3.3%)	205(3.6%)	138(2.5%)	139(2.5%)	137(2.4%)
うち訓練生 ()は未就業訓練生数/全訓練生数	81(7.0%)	87(8.9%)	46(6.4%)	13(2.1%)	34(6.0%)

- 未就業者の割合は、卒業生全体の 2.4%で、3 年ほど同じ水準となっています。
- 卒業した訓練生のうち未就業者は 6.0%と、ほぼ一昨年の割合に戻っています。
- 訓練生のうち、未就業者が 34 名、福祉分野以外への就職者が 21 名、進学者が 1 名おりますので、訓練生の介護職就職率は 90.1%であり、昨年に引き続き、増加しています。
- 留学生のうち、未就業者が 9 名、福祉分野以外への就職者が 5 名、進学者が 6 名おりますので、留学生の介護職就職率は 98.9%です。

<未就業者の就職希望状況 >

(単位:人、()は昨年実績)

	就職希望あり	就職希望なし	合 計
未就業者数	56(67)	81(72)	137(139)
うち訓練生	19(27)	15(12)	34(39)
うち留学生	4(12)	5(11)	9(23)

- 未就業者のうち、就職希望がありながら就職できなかった卒業生の割合は、昨年の 48.6%から 40.9%に減少しました。
- 未就業者のうち、就職を希望しない卒業生の割合は 59.1%であり、昨年の 51.4%から増加しています。

<就職を希望しない理由(記載のあったもの)>

(単位:人)

家事専念(出産・育児などを含む)	23
病気療養	21
進路検討中(進路変更を含む)	20
国家試験不合格(他の学業専念)	7
就労意欲減退ほか	5
就労支援センター利用	3
帰国(外国人留学生)	2

○就職を希望しない理由の記載のあったもののうち、「家事専念」と「病氣療養」で 54.3%と、半数以上を占めています。

○「外国人留学生の帰国」は、昨年度 8 名から今年度 2 名と減少しています。

【 自由記述欄 】

＜就職傾向など特徴的事項(記載のあったもの)＞ (単位:件)

就職先種別に関すること	73
実習先施設への就職	56
複数資格取得に関連して(社会福祉士・保育士など)	22
就職活動に関して	17
外国人留学生に関すること	17
コロナ禍の影響	13
奨学金に関すること	7
その他(訓練生など)	9

○就職先種別としては、介護老人福祉施設と介護老人保健施設への就職に関する記載 18 件と最も多く、次いで、障害児者関連施設に関する記載が 13 件ありました。その他、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅、居宅サービスに関する記載が 5 件、一般企業や行政職 4 件、居宅サービス 3 件、医療系 2 件、その他 2 件の記載がありました。

○実習先施設への就職が 33 件、自宅からの通いやすさで就職先を決定が 15 件ありました。その他、県内就職が 6 件ある一方で、地元を離れた県外就職を希望が 2 件ありました。

○複数資格取得に関連して、社会福祉士関連 13 件、保育士関連 9 件の記載がありました。

○就職活動に関連して、内定の時期に関する記載が 5 件、各校の就職活動でのサポート体制など 12 件ありました。

○留学生の就職先は、多くが奨学金の保証人となった施設だとする記載が 12 件ありました。その他、内定辞退者が出始めた 1 件、有料老人ホームへの就職が高い 1 件、長期滞在希望者と帰国想定組では就職希望先が異なる 1 件、などありました。

○コロナ禍による学内実習への変更などの影響で、就活時期の遅れや就職先種別の変更につながるとする記載が 10 件ありました。昨年度の 19 件からは 9 件少なくなっており、新たな就職活動の手段として、Web 説明会やオンライン面接等が実施されたという記載がありました。国家試験受験に際して、コロナ感染の影響により受験できなかったとする記載は、2 件ありました。

—以上—